

食育だより

Vol.51

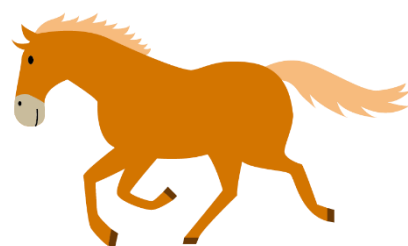


旧暦の八月朔日（ついたち）。中・西讃地区ではだんご馬を作って男の子の無事な成長を願う風習が残っています。「馬節句」とも呼ばれる「八朔の節句」です。馬節句をはじめ、いろいろな伝統行事を受け継いでいきたいですね。

☆馬節句の由来

崇徳上皇が讃岐に流されてきたとき、慰めるため米の粉でだんご馬を作ったのがはじまりとも、乗馬の名手・曲垣平九郎が丸亀藩の家臣だったからとも言われています。そのため丸亀藩にゆかりの深い地域に風習が残っています。男児の出生を祝い、秋の刈り入れを控え、豊作を先祝いする行事とされています。

＊今年の旧暦八月朔日は9月3日です。



☆五節句について

五節句の「節」は季節の変わり目という意味があり、「節句」は季節の節目に五穀豊穡、無病息災、子孫繁栄などを祈り、神様へお供え物をしたり、邪気を祓ったりする行事のことをいいます。節句は「節供」とも言われ、神様にお供えする食べ物を意味します。

1月7日

お正月を締めくくる「人日（じんじつ）の節句」では七草粥で無病息災を祈ります。

5月5日

端午の節句はこどもの日です。強い香りをもつ菖蒲（しょうぶ）を魔除けにした中国の風習が元になっています。

江戸時代に「菖蒲」が「勝負」とつながり、男子の節句とされ、兜や武者人形を飾るようになりました。



9月9日

「敬老の日」の由来となった9月の「重陽の節句」では、菊の露で体を拭って不老長寿を願います。

3月3日

上巳（じょうし）の節句。
旧暦ではこの時期に咲き、邪気を払うとされた桃の花やひな人形を飾るほか、ごちそうを用意し、女の子の成長と幸せを願います。

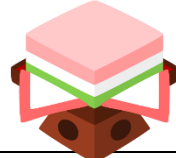
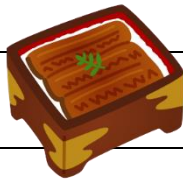
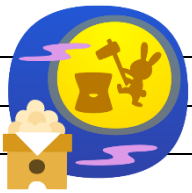


7月7日

中国から伝わった織姫と彦星の伝説と日本の「棚機つ女（たなばたつめ）」という伝説、さらに旧暦のお盆の期間であることが合わさり、現代のようなお祭りの形になりました。願いを記した短冊などを笹竹に吊るし立て、夜空の星に祈りを捧げます。



☆年中行事と食べ物

1月	1日	正月	おせち料理、お雑煮	
	7日	☆人日の節句 ^{じんじつ}	七草粥	
	11日	鏡開き	鏡餅を雑煮やぜんざいにして食べる	
2月	3日	節分	福豆、こんにゃく、鰯、恵方巻き	
3月	3日	☆上巳の節句 ^{じょうし}	ちらしずし、 はまぐりの潮汁、ひし餅 白酒、ひなあられ	
	※17～23日	彼岸	ぼたもち	
4月		花見	花見弁当、花見団子	
5月	5日	☆端午の節句	ちまき、柏餅	
6月	※21日	夏至	冬瓜、タコ	
7月	7日	☆七夕の節句	そうめん	
	※24日	土用の丑の日 (一の丑)	うなぎ、土用もち、土用しじみ、土用卵 「う」のつく食べ物（うどん、梅干し、瓜科 の野菜、牛肉など）	
8月	※5日	土用の丑の日 (二の丑)	一の丑と同じ	
	中旬	お盆	精進料理	
9月	9日	☆重陽の節句 ^{ちょうよう}	菊花酒、菊の料理	
	※17日	仲秋の名月	月見団子	
	※19～25日	彼岸	おはぎ	
11月	15日	七五三	千歳飴、赤飯	
	地域による	秋祭り	ちらしずし、 あげもん	
12月	※21日	冬至	かぼちゃ料理、「ん」のつく食べ物（れんこ ん、にんじん、うどんなど）	
	31日	大晦日	年越しそば	

※日付は2024年（令和6年）のものです。

季節折々の伝統行事と料理には密接な関係があります。それぞれ旬の食材を取り入れたものが多く、季節の風物詩のひとつにもなっています。